

 RONSO SHA 論創社		書店様ご注文先 FAX : 03-3264-5232 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル TEL 03-3264-5254	貴店名・貼合 書店様ご注文文欄	ご注文日 年 月 日 ご担当者様 冊数計 様 冊
■哲学・思想・宗教 >> 哲学				page 1/2
近代自然法国家理論の系譜 柴田高好 著	四六判上製／206頁 定価（本体価格2200円+税） 1986年7月刊 ISBN 978-4-8460-0003-5	ホッブスからルソー・カントへ マルクス政治学の創造を目指す著者が、ホッブズ・ロックからルソー・スミス・カントにいたる近代自然法国家理論の展開過程を、「自由と権力」の対概念を基軸に据えつつ〈自然法-ヘーゲル-マルクス〉のトリアードで解析する！		冊
カント講義 高峯一愚 著	四六判上製／304頁 定価（本体価格2200円+税） 1981年4月刊 ISBN 978-4-8460-0270-1	哲学の任務を、「人間の論理」と「神の論理」の峻別にあるとする著者が、『純粹理性批判』『実践理性批判』『判断力批判』の世界に分け入り、豊富な事例にそくし平易にカント哲学の全体と神髄を説き明かす書き下ろし。		冊
カント研究余滴 断思断想 高峯一愚 著	四六判上製／256頁 定価（本体価格2000円+税） 1994年4月刊 ISBN 978-4-8460-0271-8	カント哲学に長年取り組んできた著者のエッセイ集。		冊
ブルーについての哲学的考察 ウィリアム・H・ギャス 著／須山静夫・大崎ふみ子 訳	四六判上製／210頁 定価（本体価格2500円+税） 1995年9月刊 ISBN 978-4-8460-0273-2	セックスが文学にはいこむ五つの方法。ピンチョンやバース等と並ぶ作家、批評家であるギャスが描く、青へのオマージュ。		冊
霊界と哲学の対話 ——カントとスヴェーデンボリ カント、スヴェーデンボリ 著／金森誠也 訳	四六判上製／208頁 定価（本体価格2000円+税） 1991年6月刊 ISBN 978-4-8460-0275-6	18世紀中葉、ヨーロッパ知識階級を賑わした視霊者スヴェーデンボリ、その評判に触発された若き日のカントが、鋭い舌鋒で論争を挑む。同時代の知識人たちによる論評を併録。		冊
カント判断力批判注釈 高峯一愚 著	A5判上製／408頁 定価（本体価格5800円+税） 1990年5月刊 ISBN 978-4-8460-0276-3	三批判書の掉尾を飾る『判断力批判』の注釈。芸術論に至り、カント哲学の全貌を解明。		冊
カント実践理性批判解説 高峯一愚 著	四六判上製／312頁 定価（本体価格2200円+税） 1985年12月刊 ISBN 978-4-8460-0278-7	カント倫理学及び実践哲学の源泉をなす『実践理性批判』を、あらたなる構想のもとに、カント哲学の真髄である『純粹理性批判』の論理に包摂して試みる書き下ろし。		冊
ヘーゲル 法の哲学 ——自然法と国家学 ヘーゲル 著／高峯一愚 訳	四六判上製／376頁 定価（本体価格4500円+税） 1983年5月刊 ISBN 978-4-8460-0279-4	ヘーゲルにおける最後の著作である、抽象法から道徳へ、そして倫理＝人倫の体系へ止揚される弁証法的世界観は近代社会を理解する上で最重要古典の地位を占め、また現代社会の変革を志す人々にとって理論的宝庫である。		冊
カント純粹理性批判入門 高峯一愚 著	A5判上製／528頁 定価（本体価格4500円+税） 1979年4月刊 ISBN 978-4-8460-0280-0	世界の大思想『批判』の訳者が過去15年、三度に亘る改訳の経験を踏まえて、内外の研究史に分け入り、問題の所在を明確にしつつ、平易・精緻に全体を読み込む、書き下ろしの一巻。		冊
近代フランス哲学講義 竹田篤司 著	四六判上製／232頁 定価（本体価格1800円+税） 1999年10月刊 ISBN 978-4-8460-0282-4	モンテーニュ、デカルト、ラ・ロシュフコー、バスキアル、ペール…。近代フランス哲学の流れのなかで、「人間」や、そのあり方・生き方というものがどのように捉えられ、実践されてきたのかを考察しながら、哲学の意義と人生の指標を探求していく恰好の哲学入門の書。		冊

 論創社 R O N S O S H A		書店様ご注文文欄 貴店名・貼合		ご注文日 年 月 日 ご担当者様 冊数計 様 冊	
▶ご注文先 FAX : 03-3264-5232 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル TEL 03-3264-5254				■哲学・思想・宗教 >> 哲学	
サルトル 回帰する唯物論 フレドリック・ジェイムソン 著／三宅秀夫・太田晋佑・岡健彦・松本健臣・水沼真由美・近藤弘幸 訳		四六判上製／336頁 定価（本体価格3000円＋税） 1999年10月刊 ISBN 978-4-8460-0283-1		「テキスト」・「政治」・「歴史」という分割を破壊しながら疾走し続ける思考者ジェイムソンが、緻密で透徹した「読み」で、唯物論者サルトルをよみがえらせる。	
フランスの人間 ——モンテーニュ・デカルト・パスカル 竹田篤司 著		四六判上製／392頁 定価（本体価格3000円＋税） 2000年10月刊 ISBN 978-4-8460-0284-8		フランスが生んだ三人の哲学者の時代と生涯を遡る〈エッセー〉群。近代の考察からバルト、ミシュレへのオマージュに至る自在な筆致を通して哲学の主流を試行する。	
純粋経験と禪 ——俳句と『善の研究』をめぐる断章 渡邊安夫 著		四六判上製／319頁 定価（本体価格3000円＋税） 2000年3月刊 ISBN 978-4-8460-0299-2		西田幾太郎著作の『善の研究』で述べられている純粋経験をもとに、芸術の領域における「おお」を創造の「おお」と鑑賞の「おお」に分け、正岡子規、石田波郷、高浜虚子らの句を考察した遺稿集。	
理念哲学講義録 ——哲学的エッセー 天川貴之 著		四六判上製／224頁 定価（本体価格2000円＋税） 2003年5月刊 ISBN 978-4-8460-0302-9		心境と哲学的悟りを中核に真善美聖等の理念の実在という立脚点に立ち、理念哲学の諸相を様々な哲学的テーマに基づいてまとめる。無常から絶対無にいたる哲学の実相を平易な言葉で綴り、人生に即した叡知のあり方を解く。	
理論と実践の統一 牧野紀之 著		四六判上製／431頁 定価（本体価格4500円＋税） 2005年6月刊 ISBN 978-4-8460-0308-1		宇野弘蔵、松村一人、梅本克己など、かつてマルクス主義運動を提唱した人々の諸論考を読み直し、認識論の立場から、人間の根本となる理論と実践の関係を再考する。認識なきオルグの誤謬。	
ブダペストのミダース王 ——若きルカーチとハンガリー文壇 ジュラ・ヘレンバルト 著／西澤龍生 訳		四六判上製／304頁 定価（本体価格3200円＋税） 2010年10月刊 ISBN 978-4-8460-0837-6		晩年のルカーチとの対話を通じて、20世紀初頭のブダペストを舞台に“逡巡するルカーチ”＝ミダース王の青春譜を描く。亡命を経たのちの戦後のハンガリー文壇との論争にも言及する！	
ハンナ・アーレント講義 ——新しい世界のために ジュリア・クリステヴァ 著／青木隆嘉 訳		四六判上製／176頁 定価（本体価格2500円＋税） 2015年3月刊 ISBN 978-4-8460-1406-3		トロント大学の伝統ある「アレグザンダー・レクチャーズ」で行われた、五回にわたる連続講義の記録。〈生〉というアーレントの核心的概念の綿密な解説と、情熱的な〈語り方〉で種々の誤解からアーレントを解き放ち、現代の課題を引き受けるべく誘うアーレント講義。	

 論創社 R O N S O S H A		▼ご注文先 FAX : 03-3264-5232 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル TEL 03-3264-5254		書店様ご注文欄		貴店名・貼合		ご注文日		年		月		日	
								ご担当者様				冊数計			
														冊	
■哲学・思想・宗教 ≫ 思想															
page 1/7															
福本和夫 ——『日本ルネッサンス史論』をめぐる思想と人間		四六判上製／280頁 定価（本体価格2500円＋税） 1993年11月刊 ISBN 978-4-8460-0012-7		生涯、在野の実践的学究の徒であり続けた福本和夫。一世を風靡した「福本イズム」とともに、「日本ルネッサンス」の発見という一時代を画する仕事を残した、多彩な顔を持つ「思想家」の実像を浮き彫りにする評伝的論考。											
石見尚 著														冊	
片山潜の思想と大逆事件		四六判上製／288頁 定価（本体価格3000円＋税） 1995年11月刊 ISBN 978-4-8460-0030-1		片山潜の思想形成と、その背景となった明治期の社会主義運動と労働運動についての概括的論考、大逆事件に影響を与えた在来社会主義者たちの動向などを柱に詳細に分析する。											
大原慧 著														冊	
20世紀の〈社会主義〉とは何であったか ——21世紀のオルタナティブへの助走		四六判上製／1188頁 定価（本体価格4762円＋税） 1997年12月刊 ISBN 978-4-8460-0040-0		20世紀の現代史が遺す最大の歴史的教訓は「社会主義」が「資本主義」との世界史的な対抗・攻防過程を通じて敗北し変質しついに消滅するに至った事である。その世界史的教訓を分析・解明し21世紀のオルタナティブを展望。											
いいだもも 著														冊	
戦後日本思想の位相 ——自己認識のゆくえ		B6判上製／227頁 定価（本体価格2000円＋税） 1997年5月刊 ISBN 978-4-8460-0043-1		戦後日本の思想状況、既存の思想史学に関する考察から、教育実践の現場である大学における研究と教育との接点のあり方までを視野におさめた、戦後の思想と学問を批判的に総括した論文集。											
池田元 著														冊	
敗戦体験と戦後思想 ——12人の軌跡		B6判上製／376頁 定価（本体価格2500円＋税） 1997年7月刊 ISBN 978-4-8460-0044-8		鋭いジャーナリズム批判を展開する著者が、鶴見俊輔、荒正人、日高六郎、神島二郎、沢地久枝、家永三郎ら、様々なジャンルから一人ずつ代表的な論者を選んで聞く、戦後思想の歩み。若い人々にぜひ読んでほしい一冊。											
新井直之 著														冊	
反戦運動の思想 ——「新ガイドライン安保」を歴史的に問う		四六判上製／432頁 定価（本体価格2500円＋税） 1998年12月刊 ISBN 978-4-8460-0053-0		PKO法の成立、日米安保「再定義」、そして新ガイドライン安保体制づくりなどの状況に抗する、10年近い反派兵・反戦・反安保行動の中で、著者が運動に向けて書いてきたものをまとめる。											
天野恵一 著														冊	
共産主義者、奔走す ——「二十世紀社会主義」大崩壊のなかでの建党協議会の挑戦		B6判上製／377頁 定価（本体価格2500円＋税） 1999年9月刊 ISBN 978-4-8460-0074-5		建党協議会から「コム・未来」へ世界史の別れ道にたって一現代資本主義との再勝負を挑み、21世紀の新しい希望を発見しようとする一つの苦闘、今なお続く挑戦の記録。											
生田あい 著														冊	
民主主義対資本主義 ——史的唯物論の革新		四六判上製／450頁 定価（本体価格4000円＋税） 1999年12月刊 ISBN 978-4-8460-0076-9		古代ギリシアから現代まで、二つの大きな潮流を歴史的に整理し、史的唯物論に基づく資本主義の批判的読解を通して真の民主主義メカニズムの拡大を目指す刺激的論考。											
エレン・メイクシンス・ウッド 著／石堂清倫・森川展文 訳														冊	
「日の丸・君が代」と日本		四六判上製／232頁 定価（本体価格1800円＋税） 1999年10月刊 ISBN 978-4-8460-0077-6		「日の丸」が国旗であることに疑問の余地はないが、「君が代」は国歌ではなく天皇礼式の歌である。ナショナル・アイデンティティをいかにして再構築するかについての考察を収録。											
松本健一 著														冊	
非暴力トレーニングの思想 ——共生社会へ向けての手法		四六判並製／300頁 定価（本体価格2000円＋税） 2000年1月刊 ISBN 978-4-8460-0080-6		現代社会の暴力に非暴力で挑む！ ボランティア活動、NGO活動、環境教育、開発教育、参加型教育、市民活動に携わるすべての人たちのための変革の思想と手法。											
阿木幸男 著															

 論創社 R O N S O S H A		書店様ご注文欄		貴店名・貼合		ご注文日		年	月	日
						ご担当者様		冊数計		
								様		
								冊		

■哲学・思想・宗教 ≫ 思想											page 2/7	
憎悪の樹 ——アングロvsイスパノ・アメリカ フィリップ・ウェーン・パウエル 著／西澤龍生 訳		四六判上製／404頁 定価（本体価格4000円＋税） 1995年6月刊 ISBN 978-4-8460-0098-1		逆光の近代世界史。情報と謀略の森に繁る「憎悪の樹」スペイン「黒の伝説」を免罪符として近代世界を席捲したアングロ・アメリカの過去と現在を暴く刺激的ボレミーク。							冊	
天皇学事始め 古田武彦 著		四六判並製／277頁 定価（本体価格1553円＋税） 1990年2月刊 ISBN 978-4-8460-0099-8		天皇制を新しい視座からとらえ直す試み。明治維新以後、なぜ天皇は絶対権限をもたされたのか。なぜ、いま日の丸掲揚・君が代斉唱が強制されるのか。昭和と平成の間で揺れ動く天皇像を照射する。							冊	
裸眼のスペイン ——燃えあがる「史」の開頭 フリアン・マリアス 著／西澤龍生 訳		A5判上製／662頁 定価（本体価格8200円＋税） 1992年6月刊 ISBN 978-4-8460-0100-1		失われしアイデンティティを求めて……。レットルの裏にかくされた世界の理路。スペイン暗黒伝説はぬれぎぬなのだ。オルテガの高弟フリアン・マリアスの著作本邦初訳。							冊	
フェティシズム論のブティック 石塚正英・やすいゆたか 著		四六判上製／372頁 定価（本体価格2500円＋税） 1998年6月刊 ISBN 978-4-8460-0138-4		現代思想を解くキーはフェティシズムにあった。白雪姫、マルクス、キリスト悲劇、つきもの信仰……何でもあり。さまざまな角度から、フェティシズムの豊かな可能性をさぐる。							冊	
思想としての右翼 松本健一 著		B6判上製／315頁 定価（本体価格3000円＋税） 2000年8月刊 ISBN 978-4-8460-0178-0		右翼はいかに成立したのか？ 右翼思想の核心とはなにか？ 思想としての右翼を人物・歴史・事件・概念から紐解き、いまなにが必要とされているのかを問う。							冊	
竹内好の文学精神 岡山麻子 著		四六判上製／298頁 定価（本体価格3000円＋税） 2002年6月刊 ISBN 978-4-8460-0223-7		「北京日記」（1937）から論文「近代の超克」（1959）にいたる竹内好の20年間の思想的軌跡を丹念に解説し、あらたな価値創出を試みた、その“文学精神”を照射する。							冊	
ニュージーランドの思想家たち ニュージーランド研究同人会 編		四六判上製／366頁 定価（本体価格2600円＋税） 2001年3月刊 ISBN 978-4-8460-0264-0		政治・文化・芸術—様々なジャンルで偉大な足跡を遺した十三名の思想家たちの思想と生涯を通して、ニュージーランドの福祉国家実現への軌跡を明らかにする。							冊	
ディオニューソス ——神話と祭儀 ワルター・F・オットー 著／西澤龍生 訳		四六判上製／320頁 定価（本体価格2800円＋税） 1997年3月刊 ISBN 978-4-8460-0274-9		「ニーチェとともに文献学者でありながらドイツ哲学史上に確固たる地位を要求しうる思想家でもあった」と謳われた著者が、ニーチェの「ギリシア精神の開頭」を目論む、異色のパックス論。							冊	
ミューズ ——舞踏と神話 ワルター・F・オットー 著／西澤龍生 訳		四六判上製／242頁 定価（本体価格2200円＋税） 1998年4月刊 ISBN 978-4-8460-0277-0		異色の神話学者による晩年の著作2篇の翻訳。「歌うこと、舞うこと、語ること」を称揚する古代ギリシア人の固有のミューズ崇拝を、彼らの宗教・芸術・世界観の総括として明らかにする。							冊	
バッハオーフェン ——母権から母方オジ権へ 石塚正英 編著		四六判上製／288頁 定価（本体価格3000円＋税） 2001年11月刊 ISBN 978-4-8460-0294-7		先史古代の親族組織に観察される母方オジ権の究明に取り組んだ後期バッハオーフェンを遺稿と研究論文をもとに照射し、その学説の先見性と今日的意義を解き明かす。							冊	

 論創社 R O N S O S H A ▶ご注文先 FAX : 03-3264-5232 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル TEL 03-3264-5254		貴店名・貼合		ご注文日			年	月	日		
		書店様ご注文欄		ご担当者様		冊数計					
■哲学・思想・宗教 ≫ 思想										page 3/7	
力としての現代思想 ——崇高から不気味なものへ 宇波彰 著		四六判上製／243頁 定価（本体価格2200円+税） 2002年12月刊 ISBN 978-4-8460-0301-2		言語もしくは記号が機能しえない時代には、崇高なもの、不気味なものが現れてくる。思考の線上にこれまで着目されていなかった諸概念の連関を指摘し、哲学者、作家、美術史家等をむすぶ。「表象不可能」な現代を剔透する一冊。				冊			
旅に出て世界を考える 宇波彰 著		A5判上製／276頁 定価（本体価格2400円+税） 2004年4月刊 ISBN 978-4-8460-0304-3		越境者の目で「日本から世界」を見つめ、「世界から日本」を見つめる果てしない思考のクロニクル。『千年紀文学』『情況』『新日本文学』などに連載発表されたエッセイをまとめ、書き下ろしを加えて単行本化する。				冊			
マルクスの〈空想的〉社会主義 牧野紀之 著		四六判上製／380頁 定価（本体価格2800円+税） 2004年6月刊 ISBN 978-4-8460-0305-0		マルクス『経済学批判』、エンゲルス『空想から科学へ』のドイツ語原文からの精緻な読解を通して、今日のアカデミズムが提示しえなかった社会主義理念の根元的誤謬を証明する。				冊			
京都学派の誕生とシュタイナー ——「純粹経験」から大東亜戦争へ 河西善治 著		四六判上製／454頁 定価（本体価格4800円+税） 2004年8月刊 ISBN 978-4-8460-0306-7		西田幾多郎・和辻哲郎ら京都学派の哲学者が、シュタイナー思想を如何に剽窃・展開したか。シュタイナー研究30余年の著者が、豊富な資料および新発見資料に基づいて検証する。				冊			
植民地主義とは何か ユルゲン・オースタハメル 著／石井良 訳		四六判上製／270頁 定価（本体価格2600円+税） 2005年10月刊 ISBN 978-4-8460-0309-8		これまで否定的判断のもと、学術的な検討を欠いてきた「植民地主義」。その歴史学上の概念を抽出し、経済学・社会学・文化人類学などの諸概念と関連づけ、近代に固有な特質を抉り出す。				冊			
実心実学の発見 ——いま甦る江戸期の思想 小川晴久 著		四六判上製／206頁 定価（本体価格2000円+税） 2006年10月刊 ISBN 978-4-8460-0315-9		貝原益軒、熊沢蕃山、宮崎安貞、石田梅岩、安藤昌益、三浦梅園、山片蟠桃、大蔵永常、二宮尊徳、渡辺華山、横井小楠。江戸期に輝く11人の思想について、斯界の権威が平易に核心を解析する。				冊			
力としての現代思想 増補新版 ——崇高から不気味なものへ 宇波彰 著		四六判上製／272頁 定価（本体価格2200円+税） 2007年7月刊 ISBN 978-4-8460-0317-3		言語もしくは記号が機能しえない時代には、崇高なもの、不気味なものが現れてくる。無限記号連鎖からはじまる思考の線上に、哲学、文学、美術といった様々な断片を結びつけ、思想の連関を探り出す。現代思想の新たな展開。				冊			
新装版 思想としての右翼 松本健一 著		四六判上製／320頁 定価（本体価格3000円+税） 2007年8月刊 ISBN 978-4-8460-0320-3		右翼はいかに成立したのか。右翼思想の核心とはなにか。思想としての右翼を、人物、歴史、事件、概念から紐解き、そしていまにが必要とされているのかを問う、時代を震撼させた松本健一の記念碑的著作の新装版。				冊			
書評の思想 宇波彰 著		四六判上製／400頁 定価（本体価格3000円+税） 2009年5月刊 ISBN 978-4-8460-0325-8		思想の領域、無意識の世界、言語・記号の世界、歴史の時間、文学・芸術、約170本の書評を精選収録。書き下ろし書評論も併録。				冊			
フーコーを使う ギャビン・ケンダール、ゲイリー・ウィッカム 著／山家歩・長坂和彦 訳		四六判上製／336頁 定価（本体価格3000円+税） 2009年11月刊 ISBN 978-4-8460-0326-5		歴史学、考古学、系譜学、言説、というフーコーの基礎理論から、科学や文化という分析対象への実践的応用へ。同時に、ブルーノ・ラトゥールのサイエンス・スタディーズへの入門としても最適。				冊			

 論創社 R O N S O S H A	▶ご注文先 FAX : 03-3264-5232 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル TEL 03-3264-5254		書店様ご注文欄	貴店名・貼合		ご注文日			年	月	日		
				ご担当者様		冊数計							
				様		冊							
■哲学・思想・宗教 ≫ 思想												page 4/7	
帝国を撃て ——平民社100年国際シンポジウム 梅森直之 著		A5判上製／202頁 定価（本体価格2500円＋税） 2005年3月刊 ISBN 978-4-8460-0342-5		日露開戦前夜、幸徳秋水、堺利彦ら時流に抗した平民社のメッセージを100年の歳月を超え、あらたな視点で読み解く、豪・独・仏・韓・日、気鋭の研究者らの論文集。									
西部邁 ——「非行保守」の思想家 渡辺望 著		四六判上製／264頁 定価（本体価格2400円＋税） 2021年3月刊 ISBN 978-4-8460-1614-2		西部邁の素顔はエピソードの中にある。保守思想家・西部邁の1960年代の「学生運動」から、2018年の「自殺」に至る、その思想の核が「非行としての保守」にあったと洞察した著者は、数々の文献に当たり、インタビューを重ね「西部邁の全体像」に迫る！									
虚妄の「戦後」 富岡幸一郎 著		四六判上製／432頁 定価（本体価格3600円＋税） 2017年9月刊 ISBN 978-4-8460-1638-8		本当に「平和国家」なのか？ 真正保守を代表する批評家が「戦後」という現在を撃つ！ 雑誌『表現者』に連載された2005年から2016年までの論考をまとめた。巻末には西部邁との対談「ニヒリズムを超えて」（1989年）を掲載。									
冒頭を読む 世界の名著101 熊木信太郎 編訳		四六判並製／328頁 定価（本体価格1500円＋税） 2018年8月刊 ISBN 978-4-8460-1652-4		世界の名著＝101冊の「書き出し」の文章はどんなものか？ 『ハンムラビ法典』から、ホッブス『リヴァイアサン』を経て、ケインズ『一般理論』に至る叢智の系譜を辿る。									
加藤周一 青春と戦争 ——『青春ノート』を読む 渡辺考・鷲巢力 編著		四六判上製／240頁 定価（本体価格2000円＋税） 2018年12月刊 ISBN 978-4-8460-1748-4		『青春ノート』を読む——。新たに発見されたもう一つの『羊の歌』。十代の加藤周一が開戦まで書き続けた「幻のノート」。戦争・ファシズムに向かうなかで紡いだ思索の軌跡。現代の若者が読み「戦争の時代」を問う！									
戦争と紛争をなくすには、世界連邦政府を樹立する以外にない ——同時に世界の多くの課題も解決される 西村峯満 著		文庫判並製／196頁 定価（本体価格800円＋税） 2020年1月刊 ISBN 978-4-8460-1902-0		人類は地球上で最も賢い動物である。しかし逆に人類は地球上で最も愚かな動物でもある。この世界に危機感を覚えた著者による、世界救済の提案。									
アンリ・ベルクソンの神秘主義 平賀裕貴 著		四六判上製／320頁 定価（本体価格2800円＋税） 2022年2月刊 ISBN 978-4-8460-2139-9		ベルクソンの三つの主題〈事実の複数線〉〈創話機能〉〈機械〉を通して、「神秘主義」と哲学の関係について、新たな視点で優れた思索を展開。これにより、気鋭のベルクソン学者が哲学研究に新たな道を切り開く。									
大熊信行と凍土社の地域文化運動 仙石和道 著／瀬畑源 編		四六判上製／288頁 定価（本体価格3000円＋税） 2022年4月刊 ISBN 978-4-8460-2153-5		『まるめら』『越後タイムス』『大日本言論報国会』の〈論調と人脈〉を踏まえ、戦前・戦中・戦後に論壇・歌壇で活躍した従来の大熊像を覆し、新たな〈大熊信行像〉を創出する！									
土俗と変革 笠井尚 著		四六判上製／352頁 定価（本体価格2800円＋税） 2022年9月刊 ISBN 978-4-8460-2178-8		日本の文化的伝統に依拠しつつ、グローバリズムと対決した“土俗的”思想家たちの群像を描く。橋川文三、大川周明、鶴見俊輔、北一輝、竹内好、埴谷雄高、室井光広、蓮沼門三ほか。東北・会津の地から発する渾身の評論集！									
コロナ、優生、貧困格差、そして温暖化現象 佐藤幹夫 著／村瀬学 著		四六判並製／272頁 定価（本体価格2000円＋税） 2022年6月刊 ISBN 978-4-8460-2189-4		日本と世界の“今”を対話する さまざまな様相を呈する現代の緊急課題を、村上春樹・三島由紀夫・宮沢賢治・永山則夫・吉本隆明・斎藤幸平ら新旧論客の発言を踏まえて縦横に議論する〈往復書簡〉集！									

 ▶ご注文先 FAX : 03-3264-5232 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル TEL 03-3264-5254			書店様ご注文欄	貴店名・貼合	ご注文日	年	月	日	ご担当者様	冊数計
■哲学・思想・宗教 ≫ 思想									様	冊
page 5/7										
41	中庸思想の源流 ——孔子とアリストテレス 森田実 著	四六判並製／144頁 定価（本体価格1000円+税） 2024年4月刊 ISBN 978-4-8460-2383-6	0							冊
42	韓国1964年 創価学会の話 趙誠倫 著／金美廷 訳	四六判並製／232頁 定価（本体価格1800円+税） 2024年9月刊 ISBN 978-4-8460-2404-8	韓国創価学会小史 1965年日韓協定が結ばれる直前の1964年1月、朴正熙政権は創価学会に布教禁止命令を下す。著者は、大手日刊紙の記事や政府の動向を克明に分析しながら、創価学会批判の真相に迫る！							冊
43	日本近現代史の諸相 大岩川嫩 著	四六判上製／752頁 定価（本体価格8000円+税） 2024年12月刊 ISBN 978-4-8460-2422-2	「大逆事件の真実をあきらかにする会」の活動に1960年発足時から携わり、生涯を日本近代史研究とともに歩んできた、卒寿の現役研究者による著作集。日本近現代史の諸相を照らし出す貴重な考察の数々。							冊
44	コミュニケーション経済史の方法と展開 八川敏昭 著	四六判上製／248頁 定価（本体価格2500円+税） 2024年11月刊 ISBN 978-4-8460-2478-9	コミュニケーション（経済史）の嚆矢 コミュニケーション経済史の方法を〈マルクスの〉視点から確立した後に、日本の「情報通信業」とイギリス・アメリカの「放送業」の二つを、その歴史的事例として分析する労作！ 本書は標題のとおり、コミュニケーション経済史の「方法」と「展開」について論じたものである。							冊
45	小倉芳彦著作選 [Ⅰ] 古代中国を読む 小倉芳彦 著	A5変判上製／348頁 定価（本体価格6000円+税） 2003年6月刊 ISBN 978-4-8460-0350-0	古代中国にかかわって、著者自身がどのようなイメージを抱き育ててきたかを、プロセスに即してたどり直したものの。「古代中国を読む」「養蚕録（抄）」「史記・左伝を読む」の3篇を収録。							冊
46	小倉芳彦著作選 [Ⅱ] 吾レ龍門二在り矣 小倉芳彦 著	A5変判上製／391頁 定価（本体価格6000円+税） 2003年7月刊 ISBN 978-4-8460-0351-7	中国の古史・古伝説研究家に関する文章や、文革の最中に中国を旅した経験と中国古典に魅力を感じる自分との関係についての省察、中国研究の姿勢を問う「研究評論」など、1970年代に発表した文章を中心にまとめる。							冊
47	小倉芳彦著作選 [Ⅲ] 春秋左氏伝研究 小倉芳彦 著	A5変判上製／538頁 定価（本体価格6800円+税） 2003年11月刊 ISBN 978-4-8460-0352-4	「中国古代政治思想研究」「諸子百家論」「華夷思想の形成」等、小倉中国学と「左伝」研究に関する諸論文を収録。							冊
48	吉本隆明 全質疑応答 吉本隆明 全質疑応答Ⅰ ——1963～1971 吉本隆明 著	四六判並製／400頁 定価（本体価格2200円+税） 2021年7月刊 ISBN 978-4-8460-2026-2	テーマ別で編集された『吉本隆明質疑応答集』シリーズを刷新し、時系列で並べ直した『吉本隆明 全質疑応答』始動！〈情況が強い切実な課題とは何か〉～〈国家・共同体の原理的位置〉「吉本は主催者あるいは聴衆から請われれば、本公演の後の「質疑応答」に応じてきた。…「質疑応答」は本講演に勝るとも劣らない「価値」があるものだ。そして、幸運なことに、							冊
49	吉本隆明 全質疑応答 吉本隆明 全質疑応答Ⅱ ——1973～1979 吉本隆明 著	四六判並製／336頁 定価（本体価格2200円+税） 2021年7月刊 ISBN 978-4-8460-2027-9	文芸批評の立場からの人間理解のしかた／文学の現在的課題／フロイトおよびユングの人間把握の問題点について 文学の現在／『死霊』について（北海道大学他にて）／宮沢賢治の世界／枕詞の空間／『最後の親鸞』以後／／喩としての聖書／竹内好の生涯／幻想論の根柢—言葉という思想／思想詩／芥川・堀・立原の話／現代詩の思想／障害者問題と心的現象論							冊
50	吉本隆明 全質疑応答 吉本隆明 全質疑応答Ⅲ ——1980～1986 吉本隆明 著	四六判並製／432頁 定価（本体価格2200円+税） 2022年3月刊 ISBN 978-4-8460-2028-6	一九八三年ころ、わたしが『試行』に投稿（「横光利一小論」）したあとに吉本宅を訪れたときに、その投稿を読んだ吉本さんの答えは、「横光の『旅愁』を読んでないでしょう。横光のその小説は横光の戦争を描いたもので、これがわからなければ横光はわからない。これを読んで決定的な横光論を書いてください」というものだった。このとき、なににわたしは狼狽した							冊

 ▼ご注文先 FAX : 03-3264-5232 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル TEL 03-3264-5254			書店様ご注文欄	貴店名・貼合	ご注文日	年	月	日
■哲学・思想・宗教 ≫ 思想					ご担当者様		冊数計	
						様		冊
51	吉本隆明 全質疑応答 吉本隆明 全質疑応答Ⅳ ——1987～1990 吉本隆明 著	四六判並製／368頁 定価（本体価格2200円＋税） 2022年11月刊 ISBN 978-4-8460-2029-3	僕の見た東京／ハイ・イメージを語る／幻の王朝から現代都市へ／農村の終焉—（高度）資本主義の課題／イメージとしての文学Ⅰ／恋愛について／イメージとしての文学Ⅱ／日本経済を考える／還相論／異常の分散／母の物語／日本農業論／宮沢賢治の文学と宗教／宮沢賢治の実験／イメージとしての都市／宮沢賢治を語る／日本の現在・世界の動き／都市論としての福岡					冊
52	吉本隆明 全質疑応答 吉本隆明 全質疑応答Ⅴ ——1991～1998 吉本隆明 著	四六判並製／448頁 定価（本体価格2200円＋税） 2023年4月刊 ISBN 978-4-8460-2030-9	家族の問題とはどういうことか／福祉の問題／現代を読む／農業からみた現在／現代社会と青年／像としての都市／言葉以前の心について／'92文芸のイメージ／新・書物の解体学／甦えるヴェイユ／シモーヌ・ヴェイユの神・深淵で距てられた匿名の領域／社会現象になった宗教／物語性の中のメタファー—短歌からみる寺山修司の思想／現在の親鸞／新新宗教は明日を生き延び					冊
53	吉本隆明質疑応答集 ①宗教 吉本隆明 著	四六判上製／272頁 定価（本体価格2200円＋税） 2017年7月刊 ISBN 978-4-8460-1611-1	講演後の白熱する問答初の単行本化！ 1977～93年にわたる宗教に関する「質疑応答」の集成。「『最後の親鸞』以後」、「思想詩（原題・良寛詩の思想）」、「諭としての聖書」講演後、他の全16篇を収める。					冊
54	吉本隆明質疑応答集 ②思想 吉本隆明 著	四六判上製／288頁 定価（本体価格2200円＋税） 2017年9月刊 ISBN 978-4-8460-1612-8	講演後の白熱する問答初の単行本化！ 1967～86年にわたる思想に関する「質疑応答」の集成。「現代とマルクス」、「幻想論の根拠——言葉という思想」、「ポーランド問題とは何か」講演後、他の全11篇を収める。					冊
55	吉本隆明質疑応答集 ③人間・農業 吉本隆明 著	四六判上製／360頁 定価（本体価格2600円＋税） 2018年2月刊 ISBN 978-4-8460-1613-5	講演後の白熱する問答初の単行本化！ 1971～98年にわたる人間・農業に関する「質疑応答」の集成。「自己とは何か」、「異常の分散—母の物語」、「安藤昌益の『直耕』について」講演後、他の15篇を収める。					冊
56	続・最後の場所 続・最後の場所 8号 菅原則生 編著	A5判並製／92頁 定価（本体価格1000円＋税） 2020年10月刊 ISBN 978-4-8460-2002-6	菅原則生編集による『続・最後の場所』を8号から小社刊。『マチウ書試論』をめぐって7—『大衆の原型』へ菅原則生／真夏の村上春樹——『一人称単数』と『猫を棄てる——父親について語るとき』伊川龍郎／岡田幸文さんと比加賀津夫さんを悼む 松岡祥男／軍人・本村千代太と日中戦争のことなど年表的に（上）——増補改訂『吉本政枝 拾遺歌集』番外篇（					冊
57	続・最後の場所 続・最後の場所 9号 菅原則生 編著	A5判並製／144頁 定価（本体価格1200円＋税） 2021年6月刊 ISBN 978-4-8460-2061-3	菅原則生による思想・文芸批評誌を、第8号より論創社から発売。伊川達郎、井谷泰彦、松岡祥男、宿沢あぐりによる論考を掲載し、編者である菅原則生の「『マチウ書試論』をめぐって8——コロナ禍～トリアージ、緊急事態宣言のことなど」も収録。					冊
58	続・最後の場所 続・最後の場所 10号 菅原則生 編著	A5判並製／78頁 定価（本体価格1000円＋税） 2022年2月刊 ISBN 978-4-8460-2136-8	どぼーん／無名のエロスまでの物語大原富枝『建礼門院右京大夫』にふれて／絵本が固執した曲線 佐々木マキの扉を開けた伊川龍郎／『マチウ書試論』をめぐって9～「アジア的ということ」～① 菅原則生／【資料】吉本隆明が矢戸恭一に宛てた書簡＋吉本和子が矢戸弘子に宛てた書簡 宿沢あぐり／コロナ状況下、脳地炯さんを追悼する 松岡祥男					冊
59	続・最後の場所 続・最後の場所 11号 菅原則生 編著	A5判並製／112頁 定価（本体価格1200円＋税） 2022年7月刊 ISBN 978-4-8460-2208-2	きれぎれの感想～ロシアのウクライナ侵攻(1) 菅原則生／電車の中の物語——吉本ばなな「新婚さん」 伊川龍郎／南島村内法に関する一考察① 井谷泰彦／〈還相〉ということ——北川 透の末路【資料】吉本隆明「松岡祥男宛書簡」（2002年10月7日消印・全文） 松岡祥男／【資料】吉本隆明講演年譜（一九七九年まで） 宿沢あぐり					冊
60	続・最後の場所 続・最後の場所 12号 菅原則生 編著	A5判並製／98頁 定価（本体価格1000円＋税） 2023年2月刊 ISBN 978-4-8460-2253-2	きれぎれの感想（2023年1月）ロシアのウクライナ侵攻（2）——菅原則生／森鷗外の『カズイスチカ』と父の話——伊川龍郎 南島村内法に関する一考察②——井谷泰彦／【資料】吉本隆明講演年譜（1980年から1990年まで）——宿沢あぐり／【資料】マルクス者とキリスト者の討論（1970.7.25）／吉本					冊



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・貼合

ご注文日	年	月	日
ご担当者様			
冊数計			
様			冊

■哲学・思想・宗教 ≫ 思想

page 7/7

61	続・最後の場所13 続・最後の場所 13号 菅原則生 編著	A5判並製／70頁 定価（本体価格1000円+税） 2023年8月刊 ISBN 978-4-8460-2333-1	きれぎれの感想～「憤怒」を超えて（2023年7月） 菅原則生／イメージにとつての幼児性、資質—『友だちのうちはどこ？』、カフカ『城』、大衆の原像 伊川龍郎／吉本隆明の対談を読む～江藤淳との対話を軸に 勝畑耕一／【資料】吉本隆明講演年譜（1991年から2009年まで） 宿沢めぐり／【資料・単行本未収録】平田清明の所有論、国家論批判（1970.7.25） 吉本	冊
62	続・最後の場所14 続・最後の場所14号 ——ゾク・サイゴノバシヨ14ゴウ 菅原則生 編著	A5判並製／96頁 定価（本体価格1000円+税） 2024年3月刊 ISBN 978-4-8460-2376-8	吉本隆明に影響を受けた編著者による不定期刊行の小冊子。主に思想、文芸批評の論考を掲載。	冊
63	続・最後の場所15 続・最後の場所15号 菅原則生 編著	A5判並製／138頁 定価（本体価格1000円+税） 2024年8月刊 ISBN 978-4-8460-2465-9	吉本隆明に影響を受けた編著者による不定期刊行の小冊子。主に思想、文芸批評の論考を掲載。	冊
64				冊
65				冊
66				冊
67				冊
68				冊
69				冊
70				冊

 ▶ご注文先 FAX : 03-3264-5232 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル TEL 03-3264-5254			書店様ご注文欄		貴店名・貼合	ご注文日	年	月	日
■哲学・思想・宗教 ≫ 宗教						ご担当者様		冊数計	
						様		冊	
1	アーミッシュの謎 ——宗教・社会・生活 ドナルド・B・クレイビル 著／杉原利治・大藪千穂 訳	四六判上製／212頁 定価（本体価格2000円＋税） 1996年6月刊 ISBN 978-4-8460-0031-8	300年間ライフスタイルを守りつづける人々 アメリカで近代文明に背を向けながら生きるキリスト教の教会派「アーミッシュ」。自動車はおろか、テレビなど電化製品を持たない独特のライフスタイルを、なぜ今日まで守りつづけたのか、数多くの興味ある謎に迫る。						冊
2	日蓮思想の革新 ——凡夫本仏論をめぐる 松戸行雄 著	四六判並製／232頁 定価（本体価格1942円＋税） 1994年3月刊 ISBN 978-4-8460-0243-5	仏とは「誰」か？ 日蓮思想の根本に迫り、徹底した人間主義の立場から「仏とはなにか」を問題にした論争の書。						冊
3	釈尊と日蓮の女性観 植木雅俊 著	四六判上製／362頁 定価（本体価格2500円＋税） 2005年11月刊 ISBN 978-4-8460-0311-1	サンスクリット語で『法華経』を読み、鳩摩羅什訳の『法華経』親に疑義を呈し、その男女親に新機軸を打ち立てたあと、日蓮の多くの著作から、その「男女平等思想」を検証する意欲作。						冊
4	儀礼と神観念の起原 ——ディオニューソス神楽からナチス神話まで 石塚正英 著	四六判上製／238頁 定価（本体価格2500円＋税） 2005年12月刊 ISBN 978-4-8460-0312-8	ギリシア神話、フオイエルバツハの唯物論的宗教論、日本神話と縄文土偶、天の岩戸神話、石造文化など、「神的存在」にかかわる民俗を身体＝儀礼をキーワードにして検討する労作。						冊
5	ジャイナ教 ——非所有・非暴力・非殺生 ——その教義と実生活 渡辺研二 著	四六判上製／374頁 定価（本体価格3800円＋税） 2005年12月刊 ISBN 978-4-8460-0313-5	およそ2500年の長きにわたり、インド文化・経済に強い影響を与えつづき、現在もなお篤信の在家信者230万人を擁する「勝利者」の意を冠した究極の平和宗教集団〈ジャイナ教〉のすべてを知る初めての本。						冊
6	日蓮正宗の神話 松岡幹夫 著	四六判上製／430頁 定価（本体価格3800円＋税） 2006年12月刊 ISBN 978-4-8460-0316-6	「正宗」神話の核心を衝く。従来の『日蓮正宗は、現在まで七百年余り、日蓮大聖人の内証を血脈相承してきた正系門下である』という「神話」的見解に、長年の文献精査と現地調査により疑義を呈する労作！						冊
7	アーミッシュの学校 サラ・フィッシャー、レイチェル・ストール 著／杉原利治・大藪千穂 訳	四六判上製／212頁 定価（本体価格2200円＋税） 2004年6月刊 ISBN 978-4-8460-0502-3	子どもたちの心に協調性と責任感を育むアーミッシュ。人格形成を重んじつつ普通校以上の学力を授ける学びのあり方を教師が紹介。日本人が忘れていた教育の豊かさを問いかける。						冊
8	アーミッシュの昨日・今日・明日 ドナルド・B・クレイビル 著／杉原利治・大藪千穂 訳	四六判上製／160頁 定価（本体価格2400円＋税） 2009年5月刊 ISBN 978-4-8460-0511-5	〈外の世界〉とは異なる生き方を選びとった、現代のアーミッシュたち。愛と平和にみちた人々の生活を、美しい写真とともに紹介する。宗教的ルーツ、神話と現実、結婚式など全34章。						冊
9	法華経の社会哲学 松岡幹夫 著	四六判並製／256頁 定価（本体価格2000円＋税） 2010年3月刊 ISBN 978-4-8460-0800-0	仏典の中でも特別な地位を与えられ、猶且つ思想書＝文学書でもある『法華経』の精髓を「すべてを生かす力」にあると洞察した著者がその理念を基に、「平和と共生」を模索する！						冊
10	本門佛立講と創価学会の社会学的研究 ——宗教的排他性と現世主義 大西克明 著	四六判上製／328頁 定価（本体価格3000円＋税） 2009年3月刊 ISBN 978-4-8460-0860-4	日蓮系新宗教の隆盛の原因を、欧米の「セクト」とは異なる「宗教的排他性」という概念に着目し、アンケート調査を核とする社会学的アプローチを存分に駆使しながら、その謎を実証的に解明する。						冊

 ▶ご注文先 FAX : 03-3264-5232 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル TEL 03-3264-5254 書店様ご注文欄			貴店名・貼合		ご注文日 年 月 日	
■哲学・思想・宗教 ≫ 宗教			page 2/3		ご担当者様	冊数計
11	血脈破断 ——阿部日顯（アベニッケン）が潰した日蓮正宗 坂口義弘 著	四六判並製／240頁 定価（本体価格1500円+税） 2011年12月刊 ISBN 978-4-8460-1107-9	日蓮より700余年にわたる“法主の血脈=富士の清流”は、なぜ“濁流”と化したか？ 日顯登座以後、信徒数1780万人が39万人となる。全国各地の寺院を訪ね、100名の取材で明らかとなる真実！“ニセ相承”疑惑の謎を解く。			冊
12	キリスト教界と東神大闘争 ——碑文谷創全発言録 碑文谷創 著	四六判上製／352頁 定価（本体価格3800円+税） 2012年8月刊 ISBN 978-4-8460-1166-6	東京神学大学に「全学共闘会議」=全共闘が設立されたのは1969年9月。解散宣言がなされたのは、1971年1月——その間、共闘会議議長として運動の先頭で闘った著者の全発言録。			冊
13	日蓮の思想と生涯 須田晴夫 著	A5判上製／480頁 定価（本体価格3800円+税） 2012年8月刊 ISBN 978-4-8460-1167-3	近年の歴史学の成果を踏まえ、日蓮が生きた時代状況を正確に把握しつつ、「十大部」をはじめとする主要著作をその成立事情と関連させながら読み解く“日蓮仏法”の入門書。			冊
14	宮沢賢治と法華経 ——日蓮と親鸞の狭間で 松岡幹夫 著	四六判上製／312頁 定価（本体価格3000円+税） 2015年3月刊 ISBN 978-4-8460-1407-0	宮沢賢治は「彼岸性」の文学を創造し、日蓮よりも親鸞の思想に親和的な作品を多く残した。「『銀河鉄道の夜』の新解釈や本覚思想の影響など、従来見落とされていた問題に光を当て、賢治の仏教思想を現代に甦らせる。」（末本文美士）			冊
15	白描画による仏像の見方図典 香取良夫 著	菊判上製／264頁 定価（本体価格5000円+税） 2015年8月刊 ISBN 978-4-8460-1411-7	日本美、仏像の細密画。挿絵師として50年間、各地の仏像を墨線画で描いてきた著者による「白描画仏像の集大成」。100尊像のご利益と由来も詳らかにし、仏具などの関連画180点も併録。			冊
16	歴史に学ぶ自己再生の理論 加来耕三 著	四六判上製／272頁 定価（本体価格1800円+税） 2016年1月刊 ISBN 978-4-8460-1498-8	21世紀に生きる歴史の叡智、心豊かに生きた先人たち——江戸の賢人・石田梅岩を物差しに、吉田兼好、陶淵明、ソローらに学びながら、明日の自分を変える。			冊
17	スウェーデンボルグ、聖書を読む ——「預言書」と「詩篇」の神髄 高橋和夫 著	A5判上製／304頁 定価（本体価格3600円+税） 2019年2月刊 ISBN 978-4-8460-1799-6	エマヌエル・スウェーデンボルグの遺稿「預言書と詩篇の内意概要」の全訳。彼は『天界の秘義』で旧聖書の「創世記」「出エジプト記」の内意を解明しているが、それに続く全章の内意の概要を示し、草稿のまま残されたものの、ほぼ完成したと見なせるのが本書である。			冊
18	生命の探求 人は生まれ変わる 平野正利 著	四六判上製／192頁 定価（本体価格1200円+税） 2020年3月刊 ISBN 978-4-8460-1909-9	輪廻転生と永遠の生命。釈迦・ソクラテス・プラトンの思想に“人間の生まれ変わり”を見出した著者は、現代医学の死後研究・精神医学の生前研究にも刺激され、日蓮仏法の生命論の核心に迫る。			冊
19	聖書と女性たち 斉藤恵子	四六判上製／430頁 定価（本体価格3800円+税） 2021年9月刊 ISBN 978-4-8460-1983-9	聖書、キリスト教、女性たちをキーワードにまとめた。「小公子」の訳者として知られた若松賤子が夫となる巖本善治に贈った英詩「花嫁のヴェール」がアメリカの詩人アリス・ケアリーの詩であることを明らかにしているのを始め、本書の半分のページを占めるミルトンやシェークスピアを取り上げた論文には著者の手堅い実証精神が滲み出ている。			冊
20	初期經典にみる釈尊の戦争観 ——シャカ族滅亡の伝承を読む 多田 武志 著	四六判上製／272頁 定価（本体価格3000円+税） 2023年4月刊 ISBN 978-4-8460-2260-0	非暴力・非戦と仏教の立場。“不殺生”を標榜する仏教者が戦争に巻き込まれた場合、どのような対応が可能なのか——この困難な実践的課題を〈釈尊の思想と行動〉から読み解く！			冊



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・貼合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■哲学・思想・宗教 ≫ 宗教

page 3/3

21	マキアヴェッリと宗教 ——社会形成に〈神〉は必要か 石黒盛久 編著	A5判上製／292頁 定価（本体価格3500円+税） 2024年3月刊 ISBN 978-4-8460-2382-9	ルネサンス人・マキアヴェッリの政治思想の根底に秘匿された 〈隅の親石〉としての宗教の機能とは？ その宗教観と政治の 起源を問う、マキアヴェッリ研究の最前線。	冊
22	絵で見る聖書物語 梅田紀代志 画、イラスト／戸松大洋 著	A4判上製／180頁 定価（本体価格3000円+税） 2025年2月刊 ISBN 978-4-8460-2430-7	壮大な『聖書』の世界を平易な文と迫力ある絵画で読み解く。 聖書には人類の罪と罰が繰り返り描かれる。その多くは罪深い 人類に向けて発せられた奥深い神の言葉であり、難解な表現に 彩られている。その真意を読み解き、20年余の歳月をかけて描 き上げた大著。	冊
23				冊
24				冊
25				冊
26				冊
27				冊
28				冊
29				冊
30				冊